

ダムの風だより



国土交通省 大町ダム

“大町ダム管理所”の近況をお知らせする広報誌です！

★今年で大町ダム完成30周年を迎えます★

30年に1回の総合点検実施中

大町ダムでは今年度と来年度の2年にわたり、30年に1回のダム総合点検を実施しています。

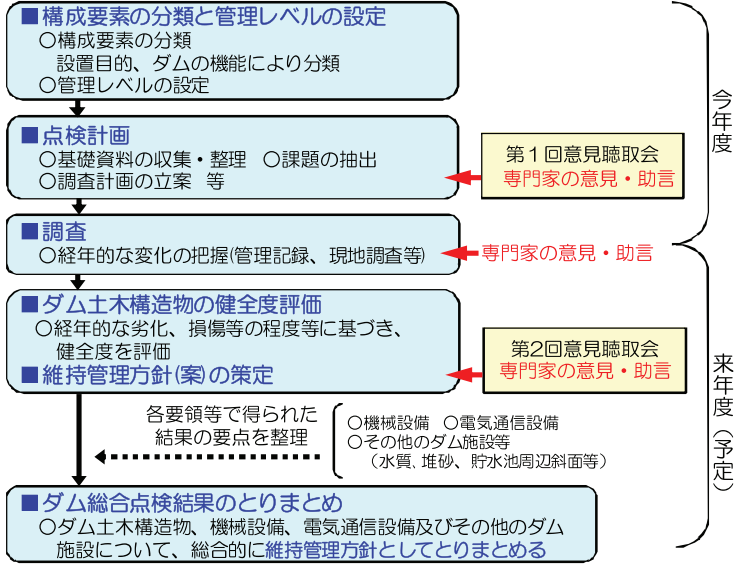
ダム総合点検は、長期的にダムの安全性及び機能を保持していく観点から、経年変化の状況や構造物の内部の状態に着目し、ダムの健全度について総合的に調査及び評価を行い、今後の維持管理方針を定め、効果的・効率的なダムの維持管理を実現するものです。

昨年の11月20日には、土木研究所から2名、長野工業高等専門学校から1名の専門家にお越し頂き、第1回意見聴取会を開催しました。専門家の方々と現地での状況を確認し、点検計画について意見を頂きました。頂いた意見を参考にし、現在調査を行っています。



ダム本体のひびわれ状況調査

ダム総合点検の流れ



経年的な変化を把握するための主な調査項目

管理記録	漏水量、揚圧力、間隙水圧、変形量、地下水位、地震記録	
現地調査	外観調査	目視による外観調査、ひびわれ計測システムによる調査
	コンクリート調査	ハンマーによる強度試験、超音波伝搬速度計測、中性化試験

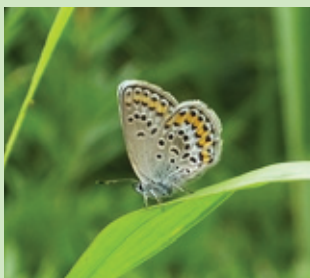
大町ダム周辺の環境調査

大町ダムでは、「河川水辺の国勢調査(ダム湖版)」の一環として、ダム湖及びその周辺における生物の息を把握し、生物の良好な生息環境の保全を目的とする環境調査を行っています。

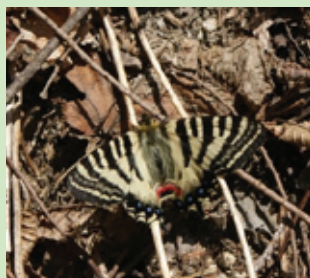
調査は8項目から構成されており、魚類、底生動物、動植物プランクトン、ダム湖環境基図作成については5年に1回、他の項目については10年に1回実施することとなっています。今年度は陸上昆虫類等の調査を対象としており、前回調査は平成17年度に実施しています。

今回の調査(春季、夏季、秋季)では、1425種の陸上昆虫類等が確認され、前回の調査より多くの陸上昆虫類等を確認することができました。(前回調査：1354種)大町ダム周辺は標高800m~900mの山岳地帯であり、キバナハサミムシ、エゾハルゼミなどの山地性の種が多く確認されました。そのほかにもヒメクロサナエ、ミルンヤンマなど山間溪流に生息する種や、キバナツノトンボなど山地草原に生息する種などが確認され、大町ダム周辺において良好な森林、溪流、草地等が多様な環境が維持されていることがうかがえる結果となりました。

また、環境省レッドデータブックにも掲載され、準絶滅危惧種である、ヒメシジミ本州・九州亜種とヒメギフチョウ本州亜種が前回調査に引き続き確認されました。



ヒメシジミ本州・九州亜種



ヒメギフチョウ本州亜種

調査項目	調査頻度	前回実施年度
魚類	5年に1回	平成24年度
底生動物	5年に1回	平成23年度
動植物プランクトン	5年に1回	平成23年度
植物	10年に1回	平成26年度
鳥類	10年に1回	平成22年度
両生類	10年に1回	平成21年度
爬虫類		
哺乳類	10年に1回(今年度実施)	平成17年度
陸上昆虫類等		
ダム湖環境基図作成	5年に1回	平成25年度

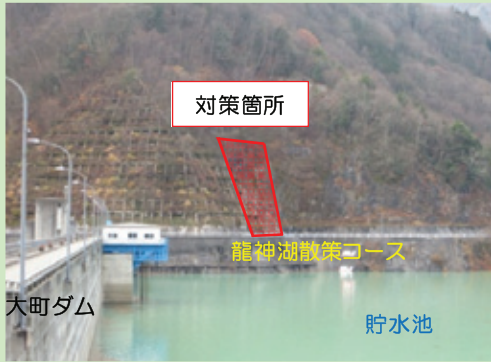
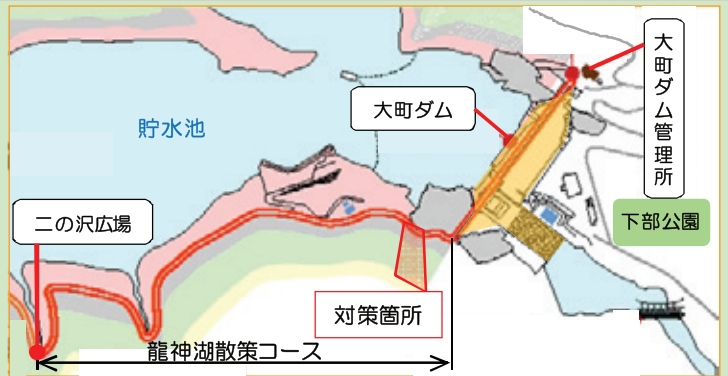
表 調査項目と調査頻度

目名	科数	種数
クモ目	25	137
カゲロウ目	2	2
トンボ目	7	16
ハサミムシ目	1	3
カワゲラ目	4	7
バッタ目	9	24
ナナフシ目	1	2
カメムシ目	27	132
ヘビトンボ目	1	1
アミメカゲロウ目	4	7
シリカゲムシ目	1	4
トビケラ目	11	12
チョウ目	29	380
ハエ目	16	52
コウチュウ目	70	590
ハチ目	14	56
16目	222科	1425種

表 確認された昆虫類の目別、科数及び種数

龍神湖散策コースの安全確保

大町ダムの龍神湖散策コース（巡視路）では、落石がたびたび発生していました。今回、ダム見学者や巡視点検者の安全を確保するため、落石対策工事を行いました。対策工事は、金網の上部を開けてポケットのようにし、落石を受け止め、金網にいれる「ポケット式落石防護網工」を採用しました。これにより、龍神湖散策コースをより安全に通行することができるようになりました。



対策箇所



工事着手時



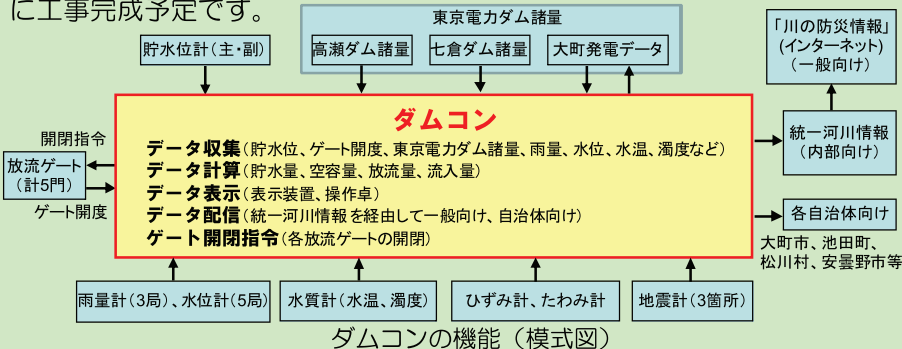
工事完了後

大町ダム管理所のダムコンを更新します

大町ダム管理所に設置しているダム管理用制御処理設備（通称ダムコンと呼ばれています）は、ダム及び貯水池の管理に必要な各種データの収集、計算等を行うほか、操作室から放流ゲートの遠方操作を可能とするもので、ダム管理所にとって大変重要な設備です。現在のダムコンは、2002年に設置してから13年が経過しており、各装置の老朽化が進んできているため、機能の維持が困難になっています。このため、平成26年度から2年計画でダムコンの全面更新工事を実施しており、今年1月から新旧ダムコンの入替え作業に着手し、3月中旬までに工事完成予定です。



現在のダムコン（操作室）



新しいダムコンの工場試験状況 (平成27年11月25日)

大町ダムオリジナルカレンダーの紹介

大町ダム管理所では、今年もオリジナルの大町ダム特製カレンダーを作成しました。本カレンダーには、大町ダムホームページに掲載している写真ギャラリーの中から、雪化粧の大町ダム（1月）や晩秋の高瀬川（11月）など、季節感あふれる写真を選んで使用しています。カレンダーは、ホームページの「特製カレンダーダウンロード」より取得可能ですので、是非ご活用下さい。大町ダムホームページ：<http://www.hrr.mlit.go.jp/omachi/>



大町ダム特製カレンダー見本



洪水から地域の人々の生命や財産を守り、ふるさとの大切な水資源を活かすことが大町ダムの使命です。ダムに関するご意見やご要望もお待ちしております。

国土交通省 北陸地方整備局 大町ダム管理所

〒398-0001 長野県大町市平字ナロラ大クボ2112-71 TEL. 0261-22-4511(代) FAX. 0261-22-4512 <http://www.hrr.mlit.go.jp/omachi/>